

関連学協会情報

関連学協会情報

①主催, ②共催, ③協賛, ④後援, ⑤期日, ⑥場所, ⑦定員, ⑧参加費, ⑨テキスト代, ⑩見学会, ⑪懇親会, ⑫申込期限, ⑬申込先, ⑭問合せ先, ⑮プログラム, ⑯内容, ⑰対象者, ⑱講師, ⑲その他

第 12 回防食技術セミナー
土木建造物の腐食・防食 Q & A

①鋼材倶楽部
③日本鉄鋼協会
⑤⑥(東京) 6 月 9 日(火)機会振興会館
ホール(地下 2 階)[港区芝公園 3-5-8]
TEL (03)3434-8216
(名古屋) 7 月 7 日(火)愛知県水産会館
大会議室(5 階)[名古屋市中区丸の内
3-4-31] TEL (052)971-3501
⑧会員 20,000 円, 学生 5,000 円,
非会員 25,000 円
⑭鋼材倶楽部市場開発部普及課
〒103 東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10
TEL (03)3669-4811

第 5 回混相流インターナシ
ョナル・レクチャーコース カ
セル輸送技術の現状と将来

⑤平成 4 年 6 月 10 日(水)
⑥住友金属工業(株)本社
[東京都千代田区大手町 1-1-3 大手セ
ンタービル]
①日本混相流学会
③日本鉄鋼協会, 他
⑧会員 20,000 円, 学生 5,000 円,
非会員 25,000 円
⑬混相流レクチャーコース実行委員会
TEL (022)222-1800(内)4544
FAX (022)222-2114

第 4 回シンポジウム
電磁力関連のダイナミクス

⑤平成 4 年 6 月 10 日(水)~12 日(金)
⑥石川県立社会教育センター
[金沢市本多町 3-2-15]
①電気学会(産業応用部門)
③日本鉄鋼協会, 他
⑯電気, 機械, 制御工学の接点にあたる
最新技術を紹介, 討議
⑧会員 10,000 円, 学生 5,000 円,
非会員 20,000 円
⑬混相流レクチャーコース実行委員会

TEL (022)222-1800(内)4544
FAX (022)222-2114

第 4 回塑性加工ウィークエン
ドセミナー
「塑性力学の基礎」

①日本塑性加工学会東海支部
③日本鉄鋼協会東海支部, 他
⑤平成 4 年 6 月 12 日(金), 13 日(土)
平成 4 年 6 月 19 日(金), 20 日(土)
⑥愛知県中小企業センター
[名古屋市中村区名駅 4-4-39]
TEL (052)561-4121
⑭日本塑性加工学会東海支部
〒464-01 名古屋市中村区不老町
名古屋大学工学部材料機能・プロセス工
学科内
TEL (052)781-5111(内)3372
FAX (052)782-3674

公開シンポジウム
「学協会の活性化を求めて」

⑤平成 4 年 6 月 15 日(月)
⑥日本学術会議講堂
[東京都文京区本郷 7-3-1]
TEL (03)3812-2111 (内) 2334
①日本学術会議第 5 部基礎工学研究連絡
委員会, 日本工学会, 日本工学アカデ
ミー
⑯・学協会の活性化を期待する
・大学の改革と学術法人活性化
・特定公益増進法人の条件と意義
・学協会運営の諸課題と対策
⑧3,000 円
⑬日本工学会 東京都港区赤坂 9-6-41
乃木坂ビル三階
TEL (03)2475-4621
FAX (03)3403-1738

第 4 回先端材料強度向上と評
価シンポジウム
—第 37 回材料強度と破壊国内
総合シンポジウム—

②日本鉄鋼協会, 他
⑤平成 4 年 6 月 17 日(水)
9:00~17:10
⑥東京大学先端科学技術研究センター講
堂
⑭日本材料強度学会
〒980 仙台市上杉 1-17-18 銅谷ビル
802 安全強度研究会内
TEL (022)265-7843

第 90 回腐食防食シンポジウム

①腐食防食協会
③日本鉄鋼協会, 他
⑤平成 4 年 6 月 17 日(水)
9:30~17:00
⑥理窓会館(東京理科大学講内)
⑬腐食防食協会
東京都文京区本郷 4-1-11 YK 本郷 2 F
TEL (03)5689-3390
FAX (03)5689-3391

環境強度に関するシンポジウ
ム

②日本材料強度学会, 学振先端材料強度
第 129 委員会
③日本鉄鋼協会, 他
⑤平成 4 年 6 月 18 日(木)
⑥電気通信大学
⑬日本材料強度学会
〒980 仙台市青葉区上杉 1-17-18 銅谷
ビル 802
TEL (022)265-7843

関西支部・本多光太郎記念行事
講演会

②日本鉄鋼協会, 日本金属学会
⑤平成 4 年 7 月 8 日(水)
13:30~16:30
⑥関西大学 100 周年記念会館 第 2
ホール[吹田市山手町 3-3-35]
TEL (06)388-3008(直)
(06)388-1121(代)
⑯「結晶粒成長の制御とコンピュータ・シ
ミュレーション」
「最近の高性能磁石について」
⑬⑭〒565 吹田市山田丘 2-1
大阪大学工学部材料物性工学科
日本金属学会関西支部 佐分利 敏雄
TEL (06)877-5111(内)4401, 4441
FAX (06)876-4729

第三十六回ケミカル・アブスト
ラクトリ用法講習会

⑤平成 4 年 7 月 10 日(金)
⑥学会センタービル F 会議室
[東京都文京区弥生 2-4-16]
①化学情報協会
③日本鉄鋼協会, 他
⑧16,000 円, 大学教職員 8,000 円, 維
持・賛助会員 12,000 円
⑬化学情報学会
TEL (03)3816-3462

第 9 回「セラミックス特性の測定技術ノウハウ」講習会

- ①日本セラミックス協会関東支部
- ③日本鉄鋼協会, 他
- ⑤平成 4 年 7 月 10 日(金)
9:30~17:00
- ⑥東京工業大学 百年記念館 フェライ
ト記念会議室
[東京都目黒区大岡山 2-12-1]
TEL (03)3726-1111
- ⑦80 名(定員になり次第締切ります)
- ⑧会員 10,000 円, 学生会員 2,000 円
(ともに協賛学協会員を含む)
- ⑬⑭〒169 東京都新宿区百人町 2-22-17
日本セラミックス協会行事企画委員会
第 9 回「セラミックス特性の測定技術ノ
ウハウ」講習会係
TEL (03)3362-5232
FAX (03)3362-5714

先端複合材料セミナー

**一ナノメータ制御による先端
複合材料の作成一**

- ⑤平成 4 年 7 月 14 日(火), 15 日(水)
- ⑥東京理科大学 神楽坂校舎 記念講堂
[東京都新宿区神楽坂 1-3]

第 12 回防錆防食技術発表大会

- ⑤平成 4 年 7 月 20 日(月), 21 日(火)
- ⑥ゆほうと 7 階(東京都簡易保健郵便
年金会館)
[東京都品川区西五反田 8-4-13]
- ①日本防錆技術協会
- ③日本鉄鋼協会, 他
- ⑧会員 12,360 円, 非会員 16,480 円
- ⑬(社)日本防錆技術協会
東京都港区芝公園 3-5-8
TEL (03)3434-0451
FAX (03)3434-0452

**平成 4 年度溶接工学夏季大学
溶接・接合部の高品質化**

- ①溶接学会
- ③日本鉄鋼協会, 他
- ⑤平成 4 年 7 月 21 日(火)~23 日(木)
- ⑥三田出版会大会議室
[大阪市北区中崎西 2 丁目 4-12 梅田セ
ンタービル 31 F]
- ⑧30,000 円(溶接学会ならびに協賛学
協会会員), 2,000 円(学生員)
- ⑦100 名(申込先着順)
- ⑬溶接学会 〒101 東京都千代田区神田
佐久間町 1-11

TEL (03)3253-0488~9
FAX (03)3253-3059

**第 16 回構造工学における数値
解析法シンポジウム**

- ⑤平成 4 年 7 月 28 日(火)~30 日(木)
- ⑥建築会館ホール
[東京都港区芝 5-26-20]
TEL (03)3769-2977
- ①日本鋼構造協会
- ③日本鉄鋼協会, 他
- ⑧5,000 円, 学生 1,500 円
- ⑬日本鋼構造協会
東京都千代田区丸の内 3-3-1 新東京ビ
ル 848
TEL (03)3212-0875
FAX (03)3212-0878

**第 17 回東海支部・塑性加工懇
談会「パイプ/チューブ部材加
工の進展」**

- ①日本塑性加工学会東海支部
- ③日本鉄鋼協会東海支部, 他
- ⑤平成 4 年 8 月 5 日(水)
- ⑥マルヤス工業(株)
[岡崎市橋目町北山 1]
TEL (0564)31-2121(代)
- ⑬日本塑性加工学会東海支部
〒464-01 名古屋千種区不老町
名古屋大学工学部材料機能・プロセス工
学科内
TEL (052)781-5111 (内)3372
FAX (052)782-3674

GALVATECH '92

**2nd International Conference
on Zinc and Zinc Alloy Coated
Steel Sheet**

- *1989 年 ISIJ 主催の GALVATECH の
2 回目。日本から 22 件 paper が提出さ
れた。
- ⑤1992 年 9 月 8 日~10 日
- ⑥Amsterdam, The Netherlands
- ①CRM, Hoogovens, 鉄鋼協会協賛
- ⑬1. New Coating Lines in Europe
2. Joining of Zinc Coated Steel Sheets
3. Hot Dip Galvanizing Lines: Equip-
ment and Performances
4. Forming of Zinc of Coated Steel
Sheets
5. Galvannealing Process Control
6. Surface Treatment and Paint Adhe-
sion on Coatings

- 7. Coated Steel Sheets in the Automot-
ive Industry
- 8. Corrosion Behaviour
- 9. New Processes, New Products
- 10. Surface and Structural Analysis of
Coatings
- 11. Electrogalvanizing Process and
Product
- 12. Field and Accelerated Corrosion
Test Methods
- ⑫8 月 20 日(500 人先着順)
プログラム, レジストレーションフォー
ム希望者は, 協会国際室まで。
- ⑬(9 月 11 日)
Hoogovens, Cockerill Sambre, Thyssen,
Sollac の 4 コース
- ⑧一般参加費 26,000 ベルギーフラン
(8 月 20 日以前)
- ⑭ Centre de Recherches Métallur-
giques-CRM
Rue Ernest Solvay, 11
B-4000 Liège, Belgium
TEL (32)41 546 391
FAX (32)41 546 464
TELEX 41202 crm b

第 35 回自動制御連合講演会

- ①システム制御情報学会
- ③日本鉄鋼協会, 他
- ⑤平成 4 年 10 月 28 日(水)~30 日(金)
- ⑥岡山カルチャーホテル(予定)
[岡山市学南町 1-3-2]
- ⑬システム制御情報学会
京都市左京区吉田河原町 14 近畿地方
発明センタービル
TEL (075)751-6413
FAX (075)751-6037

第 28 回熱測定討論会講演募集

- ①日本熱測定学会
- ③日本鉄鋼協会, 他
- ⑤平成 4 年 10 月 28 日(水)~30 日(金)
- ⑥早稲田大学国際会議場[東京都新宿区
西早稲田 1-6-1]
- ⑬①熱測定および温度測定, ②熱分析
- ⑫6 月 20 日(土)必着
- ⑭日本熱測定学会事務局
〒113 東京都文京区湯島 2-16-13 齊藤
ビル 2 F
TEL (03)3815-8514
FAX (03)3815-8939

**有田国際ファインセラミック
シンポジウム 1992**

- ⑤平成4年11月11日(木)~13日(金)
⑥佐賀県立九州陶磁文化館 (佐賀県有田町)
①佐賀県ファインセラミックス国際シンポジウム実行委員会

**第 21 回疲労シンポジウム講演
募集**

- ①日本材料学会
③日本鉄鋼協会、他

- ⑤平成4年11月17日(火), 18日(水)
⑥京大会館[〒606 京都市左京区吉田河原町 15-9]
TEL (075)751-8311(代)
⑫平成4年6月19日(金)
平成4年9月11日(金)
⑬日本材料学会疲労シンポジウム係
〒606 京都市左京区吉田泉殿町 1-101
TEL (075)761-5321

破壊の基礎国際会議

- ⑤1993年5月31日~6月4日
⑥裏磐梯ロイヤルホテル (福島)
⑩破壊と原子結合, 破壊と転位, 環境脆化の機構, 高温破壊の機構, 界面の構造・組成と破壊, 疲労の機構など
⑫1992年10月31日
⑬組織委員長: 木村 宏 (神奈川大)
事務局およびサーキュラー等請求先:
〒106 東京都港区六本木 7-22-1
東京大学生産技術研究所 1部 鈴木敬愛
TEL (03)3475-5243
FAX (03)3402-6375

(社)日本産業用ロボット工業会 創立 20 周年記念論文の募集

1. 応募資格: 制限なし。
2. 論文の内容: 「21世紀のロボット」に関係した下記のテーマとします。
 - 21世紀におけるロボット技術
 - 21世紀におけるロボットと人間(社会)との関わり
 - 21世紀におけるロボットの国際協力
 - その他
3. 執筆要領: 1)未発表の論文に限ります。
2)使用言語——日本語ないしは英語に限ります。
3)原稿枚数——用紙の指定はありませんが、横書きとし、日本語で約7500字、英文で約3000語(ワード)(図表は含みません)とします。なお、日本語でワープロ入力の場合は、A4サイズで25字×25行×12枚ほどとなります。また、本論文に400字(英文では150語)程度の要約をつけてください。
4. 締切日: 平成4年6月30日
5. 論文の審査: 審査委員および運営委員により、入選作3編(最優秀賞1編・優秀賞2編)を選定します。
6. 入選作品の発表: 平成4年9月中旬
本人宛に通知し、10月16日の20周年記念式典で表彰するほか、20周年誌、あるいは当会会誌に掲載の予定です。なお、入選された方には講演を依頼することもあります。
<賞牌等>
 - 最優秀賞: 賞状, メダル及び副賞として 30万円 1編
 - 優秀賞: “ ” 10万円 2編
 - 参加賞: 記念品
7. 論文の送り先: 〒105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 213号
(社)日本産業用ロボット工業会 20周年記念論文係
TEL (03)3434-2919
なお、さしつかえない範囲で住所(電話番号), 氏名, 年令, 職業を別の用紙に記載の上、同封してください。
8. その他: 応募論文の原稿は、返却しません。また、著作権は当会に帰属するものとします。

工業統計調査のポスター公募

1. 応募資格
特に制限はありません。
2. 応募作品の内容
(1) 応募作品は未発表のもので、製造業を営む事業所の方々が工業統計調査に対する理解を深め、調査への協力が得られるような内容のものとしします。
(2) 応募作品の規格等
ア) 用紙は日本工業規格 A2 判を縦長に使用すること。
イ) 使用する色は 4 色以内のこと。
(ただし、白色は 1 色と数えません。また、同じ色の濃淡は 1 色と数えますが、使用している 2 色を混ぜて使った場合は、3 色と数えます。)
ウ) 図案には、「通商産業省」「工業統計調査」「平成 4 年 12 月 31 日」の文字を必ず入れること。
エ) 写真の使用は認めない。
オ) 応募作品の裏面には、「住所」「氏名」「電話番号」「職業(学生の場合は学校名、学年)」を必ず記入すること。

- なお、「氏名」「学校名」は、略字を使わず、正式名称で書き「ふりがな」をつけること。
3. 応募期間
平成 4 年 5 月 1 日から 6 月 20 日(当日消印有効)までとします。
 4. 応募方法
作品は、応募者の在住する都道府県の工業統計調査担当部局又は通商産業大臣官房調査統計部工業統計課(〒100 東京都千代田区霞が関一丁目 3 番 1 号)あて送付してください。
 5. 入選作品の著作権等
(1) 入選作品の著作権は、通商産業省に帰属します。
(2) 入選作品については、印刷等の都合で一部修正することがあります。
(3) 応募作品は返還しません。
 6. 入選者等の発表及び賞状の授与等
入賞者等の発表については、決定次第「通産省公報」に掲載し、8 月末日までに本人に通知します。

- 最優秀賞 1 名 通商産業大臣賞状
優秀賞 2 名 調査統計部長賞状
優良賞 若干名 調査統計部長賞状
学校努力賞 若干校 調査統計部長賞状
- なお、最優秀賞、優秀賞、優良賞及び学校努力賞(小学校、中学校及び高等学校対象)に対しては、別に、社団法人通産統計協会から会長賞状が授与されるとともに、併せて以下の副賞が贈呈されます。
- 最優秀賞 10 万円
優秀賞 3 万円
優良賞 記念品
学校努力賞 記念品

問合せ先
調査統計部工業統計課
TEL (03)3501-1511 内線 2391~3
TEL (03)3501-9929(直)

//////////////////////////////////// 原稿募集 ////////////////////////////////////// 「鉄と鋼」特集号 //////////////////////////////////////

鉄鋼業における最近のセンサー技術

原稿締切日 平成 4 年 11 月 6 日(金) 締切日厳守
締切日以降の投稿原稿は受け付けませんのでご注意ください

平成 5 年 7 月(第 79 年第 7 号)に上記特集号を企画しております。最近の鉄鋼製造プロセスにおいては、多種多様なセンサーが用いられています。古くは温度計測から、寸法・形状、非破壊検査などの分野や最近ではオンライン F 値センサーのような材質計測の分野にまでセンサーがオンラインで利用されています。さらに画像処理の機能も取り入れられています。本特集号ではこれら最新のセンサー技術を紹介し、鉄鋼の計測・制御技術の視点からこれらをとらえてインテリジェント化、複合化および無人化・自動化の今後の進展を展望したいと思います。論文、現場技術報告の両分野に多数御投稿下さいますことを期待しております。

1. 原稿締切日 平成 4 年 11 月 6 日(金)
2. 発行 「鉄と鋼」Vol. 79 No. 7(平成 5 年 7 月号)
3. 原稿枚数 論文: 刷り上がり(表, 図, 写真を含めて) 7 ページ以内(18000 字以内)
 <平成 5 年 1 月号(Vol. 79 No. 1)より「鉄と鋼」が B5 判から A4 判に変わります>
 (注)・原稿は本会投稿規程に基づいて執筆して下さい。・投稿された論文は和文会誌分科会において審査されます。
4. 問合せ・原稿送付先
 〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階
 (社)日本鉄鋼協会 編集・業務室 和文誌特集号係(担当・松井, 中村) 電話 03-3279-6021(代)
 (注) 投稿時、原稿表紙に「計測制御特集号」と朱書して下さい。